

京都市立新町小学校

令和7年度学校経営計画

1 教育目標及び目指す子ども像、教職員像、学校像

■教育理念（一生を貫く考え）

自立 共生 創造

■教育の目的（6年間かけて育んでいくべき資質能力）

自ら進んで学び、ともに高め合い、夢に向かって歩む子の育成

■教育目標（単年度、もしくは2年間で達成する子ども像）

（低学年）

自分の身の回りの生活を自分の力で行える子ども

友達や周囲の大人と仲良くできる子ども

好きなことを見つけ、一生懸命になれる子ども

（中学年）

自分のやるべきことを自分で見つけ、解決することができる子ども

交友関係を広げ、人と人をつなげることができる子ども

目標を立て、実行し、振り返りながら継続することができる子ども

（高学年）

自分の立てた目標達成のために、克己心をもって努力できる子ども

友達や学校全体のためになることを考え、実行することができる子ども

夢の実現に向けて計画を立て、何をすべきか考え、目標を達成する子ども

■めざす学校像・教職員像

一人一人を大切にする愛ある学校・教職員

公立学校として責任と自覚をもって精励する学校・教職員

自己実現し、社会に貢献しようとする人材を育成する学校・教職員

学校経営方針

■基本方針

本校の教育理念は「自立・共生・創造」とする。教職員は、この理念を常に意識して教育活動を進めていく。これは全国学力学習状況調査や学校評価アンケート、教職員との面談を経て、本校の児童の将来像と現在の課題を考察し令和6年度より掲げた理念である。

現在の学校教育は児童減少、生成AIの普及、働き方改革など社会の変化と共に大きく変わろうとしている。しかし、学校教育で第一に大切にすべきことは今目の前にいる子どもの育成であり、普遍的な価値について大切にしていかななくてはならない。それは、子どもが自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値ある存在として尊重し、豊かな人間関係を築きながら自分らしい生き方を探究し、実現できるように取り組んでいくことである。一方、上記のような社会的変化に対応する力もつ

けていかなければならず、学校も社会的変化に対応していく必要がある。

そのため、今までの学校教育を検証し、見直し、新しい教育の創造にも挑戦していく。教職員のみならず、保護者や地域、関係機関などと協議し、京都市の目指す、「伝統と文化を受継ぎ、時代と自らの未来を創造する子ども」の育成を目指す。

■重点項目

「いのち」

・子どもを教え育むという崇高な職務に携わる教職員としての誇りと自覚をもち、心と体を大切に育てる子どもを育成する。

・学校が安心して生き生きと活動できる場所であることを子どもが実感でき、あらゆる人間関係の中で大切にされていると実感できるようにする。(安全教育、いじめ対応、体罰・ハラスメントの根絶)

・インターネット上での様々な人権侵害、犯罪被害にあわないよう、また加担しないよう適切な判断ができるようにする。

「よりそい」

・子ども一人一人の人権が大切にされているか、全教職員が関わり、居場所を確保し、細やかに観察し慈しみ育てていく。

・様々な障害や困り、貧困や虐待など子どもを取り巻く生活のありようを把握し、関係機関と連携し、個に応じた福祉的な支援を含めた対応を積極的に図っていく。

「つとめ」

・教職員は自らの姿で人としての生き方を伝える子どもたちにとって最大の教育環境であることを踏まえ、自らの職責と自覚し、子どもや保護者、地域住民の信頼を得られるよう努める。

・「主体的・対話的で深い学び」の視点から授業研究を行い、知識や技能、表現力、思考力を高め、さらに主体的に学びに向かう子どもを育てることを意識する。

・GIGA 端末はじめ様々な ICT 機器を活用し、子どもの知識の定着や思考力・表現力向上を目指す。令和7年度は外部の専門家等の知見を積極的に取り入れ、全教職員で研修研鑽する。

・日々の授業と家庭学習を連携させ、自分に必要な学習は何か判断し、自学自習ができるようにする。

・全市スキルアップ DAY などを活用し、自己研鑽し研修履歴に積み重ね、自分の専門性を高める。

「ひろがり」

・学校運営協議会や PTA と協働で学習活動を進め、子どもが身に付けるべき資質・能力を分かりやすく示し、家庭・地域と同じ方向を目指しながら、教育の理念の実現に向かう。

・京都ならではの、新町ならではの取組を推進し、伝統文化教育や環境教育、探究的な学習などの中で直接体験を取入れ、地域を巻き込み地域社会全体が子どもの教育に関心をもてるよう情報発信する。

「つながり」

・互いに認め合い、尊重して、支え合うことのできる共生社会の形成を目指す。

・幼保小中のつながりを意識し、KKP(烏丸中・上京中ブロックプロジェクト)内での取組が自校の子どもたちにどのような影響を与えるのか見直し、よりよいものを連携しながら作り上げる。

(以上公表内容)

日常的に心がけること

■私たち学校に勤めるものは職種に関係なく学校の代表者として見られます。接した相手が好感をもつよう意識して行動しましょう。

★質の高い授業を実践する（教師のあたりまえと考えています）

質の高い授業の追究は、教師の基本であり、ゴールのない課題です。今年度は授業時数が大幅に削減されています。お楽しみ会の学級活動、単元終盤の練習の時間、発表練習など見切りをつけるものも出てきます。

また、一時間の中で一斉指導だけでは主体的・対話的で深い学びにはなりません。また、子どもに任せて作業で一時間が終わることもありません。話しすぎる授業はまだ散見されます。一斉指導では分かりやすく、問い返すことのないような発問を意識し、子どもが問題を解いたり考えていたりする個別の場面では個別の指導のため机間指導を行います。授業中、特別な場合を除き、その場から離れることはできません。安全配慮義務があるからではありません。教師は教室で子どもたちを見るものだと思っているからです。

①あいさつ

子どもたちへの指導はもちろんですが、私たちも意識して丁寧なあいさつをしましょう。学校に来る人は全て「来客」です。廊下であったとき、職員室に来られた時、気持ちのいいあいさつをしましょう。

②時間を守る

遅刻は問題外です。授業の開始や終了、給食室に来る時刻がいい加減になってくることがありました。大人にも子どもたちにも平等に時間は与えられています。19時に教頭が退勤するなら、皆さんは5分前には出てください。

③保護者への説明

問題行動、けがなどマイナス面での連絡が多いと思います。分かりにくく事実かどうかあいまいな説明にならないように気を付けましょう。また、時にはプラス面の電話があればうれしいものです。保護者に協力してもらった時のお礼も忘れずにしましょう。

④学年主任への報告

学習の進度、学級の雰囲気、トラブルなど学年会で学年主任への報告を忘れないようにしましょう。主任は報告された内容を吟味し、各主任・教務主任に報告するか判断してください。管理職への報告の判断も任せます。

⑤締め切り厳守

提出物の締切は必ず守ってください。多くの子どもも保護者も守っています。ルールだからです。教務主任や教頭はそれをもとに委員会に報告することもあります。また、通知表の所見、一覧表の作成は忙しい時期です。実現可能なスケジュールを提案するので守りましょう。

⑥整理整頓

廊下に教材教具が多く並んでいると汚く見えます。整然としていると気持ちがいいです。指導が細やかな先生は放課後の机、雑巾、ロッカーの上のものがきれいに並んでいます。自分なりの方法で職員室の机もきれいにしましょう。学校が汚いと子どもも乱れます。

@コンプライアンス

学習内容の履修不足、教材やテストの未完遂、個人情報への漏洩、体罰やハラスメント。もし、抵触す

るような場合は即時に相談してください。対子どもも対大人も。同僚だから、仲間だから止めましょう。

令和7年度 学校教育構想図

KKP

京都市 学校教育の重点

学校運営協議会



教育目標 (単年度、もしくは2年間で達成する**子ども像**)

(低学年)

- 自**自分の身の回りの生活を自分の力で行える**子ども**
- 共**友達や周囲の大人と仲良くできる**子ども**
- 創**好きなことを見つけ、一生懸命になれる**子ども**

(中学年)

- 自**自分のやるべきことを自分で見つけ、解決することができる**子ども**
- 共**交友関係を広げ、人と人をつなげることができる**子ども**
- 創**目標を立て、実行し、振り返りながら継続することができる**子ども**

(高学年)

- 自**自分の立てた目標達成のために、克己心をもって努力できる**子ども**
- 共**友達や学校全体のためになることを考え、実行することができる**子ども**
- 創**夢の実現に向けて計画を立て、今何をすべきか考え、目標を達成する**子ども**

■研究活動

■生徒指導

■総合育成支援教育

■学力向上

■人権教育

情報活用能力の育成研究を通して新しい教育の創造

自己指導能力の育成 (発達支持的生徒指導)

支援の必要な児童へ適切な支援

子どもの**基礎的・基本的な**学力向上

共生社会を生きる子どもの人権意識の育成

■めざす学校像・教職員像

一人一人を大切にする愛ある学校・教職員

公立学校として責任と自覚をもって精励する学校・教職員

自己実現し、社会に貢献しようとする人材を育成する学校・教職員